

# お茶と日本人

日常の暮らしに溶け込んだ日本のお茶は、およそ千三百年前に唐から伝えられました。それから以降、宋、明時代のお茶のノーハウからもつよい影響を受けて日本の社会に着実に定着してきました。

このようにお茶と日本人との関わりが始まってからおよそ千三百年以上の悠久の時間の中で、日本人はその感性に呼応させて、抹茶や緑茶の製法を開発し、喫茶法を築いてきました。

またお茶本来のエッセンスを活かして、美術、工芸、建築、薬用、料理など多種多様な文化や産業なども創出してきました。

まさに、日本社会の特色について述べるうえで、お茶との関わりを抜きにして語るができないといってもよいでしょう。

この度、工藤 宏先生をお招きし、お茶という植物の特徴、くらしや社会との関わり、日本社会へのお茶の伝播と製茶・喫茶との呼応 などについてご解説いただきます。



■日 時：2023年5月24日(水)

13:00～15:00

■会 場：本草薬膳学院 教室及びオンライン(ZOOM)

■受講料：5,500円 ■定員(教室)：先着30名

入間市博物館 (ALIT) 学芸員

講師：工藤 宏先生



1978年 4月～入間市役所市史編さん室勤務

1994年11月～入間市博物館勤務、学芸担当

2014年定年退職、現在入間市博物館文書調査員

埼玉県人物事典執筆委員、埼玉県市町村史連絡協議会副会長、駿河台大学・江戸川大学・

早稲田大学・大妻女子大学・武蔵野音楽大学・日本女子大学等非常勤講師のほか

日本茶インストラクター専任講師育成審査員、日本茶検定委員会委員を務める

現在は入間市文化財保護委員、日本茶インストラクター認定委員、大宮盆栽美術館 盆栽アカ

デミア講座講師(煎茶文化史)、手揉み茶、烏龍茶、紅茶などの製造、古文書、お茶の歴史、

喫茶、お茶づくりや食育等に関する執筆、講演や講座を実施

■お申し込み方法■ (どなたでもご参加できます！)

右記QRコード、もしくは本学院ホームページ(公開講座申込)よりお申し込みください。

お申し込みをいただいた方には開講が決定次第、お振込みのご案内を差し上げます。

※お振込みいただいた受講料は返金出来ません。予めご了承ください。

(申込締切：5月17日)



■お問合せ先■

本草薬膳学院

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町22番6号 東京セントラルプレイス2階

TEL：03-6206-2751 E-mail:yakuzen@honzou.jp URL:https://www.honzou.jp/